

① 研究課題名：

高齢者の脊椎・脊髄損傷に関する多施設後ろ向き研究

② 研究の目的：

脊椎・脊髄損傷は交通事故や高所からの転落などにより発生する外傷ですが、超高齢社会を迎え、高齢者における脊椎・脊髄損傷は年々増加しています。年齢層や受傷原因の変化に伴い、損傷の形態や治療方法、合併症の評価やその対策を検証することは、重要な課題となっています。しかし、現在、本邦において高齢者の脊椎・脊髄損傷に関する大規模かつ全国的な疫学、治療成績、合併症などの報告はありません。

本研究は、脊椎・脊髄損傷に対して入院して治療された65歳以上の高齢の方について、受傷機転や損傷状態、治療方法およびその成績、合併症などの臨床データを後ろ向きに調査し、その病態や合併症、治療成績を検証することを目的としています。

③ 研究期間：西暦 2010年1月 ～ 2021年 3月 31日

④ 研究責任者及び研究実施施設

研究責任者：金沢大学附属病院 整形外科 准教授 出村 諭

研究実施施設：名古屋市立東部医療センターはじめ本研究に参加する施設

⑤ 研究の対象：

2010年1月1日から2020年8月31日までの間に、名古屋市立東部医療センターへ入院して脊椎・脊髄損傷に対して治療された65歳以上の方。

⑥ 調査項目：

基礎情報：患者背景（年齢、性別、身長・体重、喫煙・飲酒歴等）、受傷～診断（受傷日、受傷状況・機転等）、入院時検査（血液検査、骨密度検査）、画像所見、MRI所見、頸髄損傷状況、合併損傷の状況、既往歴、服薬歴、椎骨動脈損傷の状況など

治療情報：初期対応、保存的治療、手術治療、術中合併症、周術期合併症

退院時の状況：入院期間、退院先、退院時の移動能力・ADL・ASIA機能障害尺度など

治療開始後（術後）6ヶ月状況：居住先、治療開始後6ヶ月の移動能力・ADL・ASIA機能障害尺度、晩期合併症（退院時～6ヶ月まで）など

治療開始後（術後）12ヶ月状況：居住先、治療開始後6ヶ月の移動能力・ADL・ASIA機能障害尺度、晩期合併症（6ヶ月～12ヶ月まで）など

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「データシート」に入力します。データシートは、金沢大学附属病院整形外科に送付されデータ解析が行われます。

⑧ 研究成果の公開

本研究は、学会や医学専門雑誌上で公表する予定です。

⑨ 個人情報の保護

この研究で使用する情報に、個人を特定する情報（あなたのお名前、ID、住所等）は含まれませんので、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加したくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は医療者にその旨をお伝えください。提供されたデータの削除はできませんが、解析を行う対象から除外されます。不参加のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究に係る利益相反はありません。

⑫ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	整形外科	白神 宗男 TEL：052-721-7171（代表）